

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【公開番号】特開2007-324210(P2007-324210A)

【公開日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-048

【出願番号】特願2006-150095(P2006-150095)

【国際特許分類】

H 01 F 1/22 (2006.01)

B 22 F 1/02 (2006.01)

H 01 F 1/24 (2006.01)

【F I】

H 01 F 1/22
B 22 F 1/02 G
H 01 F 1/24

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月15日(2008.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

金属磁性粒子と、前記金属磁性粒子の表面を取り囲み、リン酸塩を含む絶縁被膜とを含む複数の複合磁性粒子と、

芳香族ポリエーテルエーテルケトン樹脂と、

平均粒径が2.0 μm以下の微粒子状の金属石鹼および/または六方晶系の結晶構造を有する無機潤滑剤を備え、

前記金属石鹼および/または六方晶系の結晶構造を有する無機潤滑剤は、前記複数の複合磁性粒子に対して、0.001質量%以上0.05質量%以下含まれる、軟磁性材料。

【請求項2】

前記芳香族ポリエーテルエーテルケトン樹脂の重量平均分子量が1万以上10万以下である、請求項1に記載の軟磁性材料。

【請求項3】

前記芳香族ポリエーテルエーテルケトン樹脂の平均粒径が、前記金属石鹼および/または六方晶系の結晶構造を有する無機潤滑剤の平均粒径の10倍以上であって、かつ、前記金属磁性粒子の平均粒径の2倍以下である、請求項1または2に記載の軟磁性材料。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の軟磁性材料を用いて作製された、圧粉磁心。